

自治体・協議会名	岐阜県地域公共交通協議会
評価対象事業	地域間幹線系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・岐阜県地域公共交通計画を策定し、地域間幹線系統の維持に向けた自治体間調整やリニア中央新幹線開業を踏まえ、東濃地域と各地域を結ぶ公共交通の「南北軸」、「東西軸」の強化に向け、主体的な役割を位置づけ、県としての方針を定めたことを確認しました。
- ・公共交通事業者へのコロナ感染防止対策事業支援金、燃油価格高騰分の支援金、県補助の概算払など、運行継続に向けた支援策が行われていることを評価します。
- ・GTFSデータ作成のための自治体向けの勉強会を開催するなど、自治体がGTFS形式によるオープンデータ化に対応するよう支援していることを評価します。

期待する取組

- ・輸送量や収支率が低く、維持が危ぶまれる地域間幹線系統(特に計画輸送量が15未満となっている系統)については、現状の把握や課題の整理を行うとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向けた関係事業者や沿線自治体等と連携した取組の実施に期待します。
- ・引き続き県下の全ての自治体がGTFS形式によるオープンデータ化に対応するよう引き続き支援することを期待します。
- ・新たに策定した地域公共交通計画に定められた事業の進捗確認や効果検証を行い、持続可能で利便性の高い地域公共交通の形成が図られることを期待します。
- ・揖斐厚生病院の移転について、広域的な移動の観点からの検討も必要であるため、県法定協議会等において地域の関係者とともに対応を進められることを強く期待します。